

陳情第 1 号

2018年2月21日

長崎市市議会議長 野口 達也様

陳 情 人 国保問題長崎市連絡会
代 表 事務局長 柴原聖子
連 絡 先 長崎市下町2-11
電 話



国民健康保険税の引き下げを求める陳情

陳情趣旨

国民健康保険の大きな特徴は、医療を最も必要とする高齢者が多数を占めていることです。また、長引く経済の低迷と雇用形態の激変は、収入の少ない所得者層が加入者となっています。「国保税が年収の1割を超える」「払いたくても払えない」「食費を削って支払いに充てている」など、痛切な市民の声が上がっています。長崎市も例外ではなく、加入世帯の内 85.9%が総所得金額200万円以下であり、全体の約10%の世帯が経済的理由などで滞納しています。

2018年度からの国保の都道府県単位化により国保財政の立て直しを行うということになっています。しかし、納付金が足りなければ、一般会計からの繰り入れは行わず、長崎県の基金を借り、分割して長崎市の国保の収入から返していくという、市民の負担を増やす仕組みとなっています。

国保財政の建て直しに求められるのは、国庫負担金の引き上げや長崎県の負担金を増やし、市町国保財政の支援を直接行うことで国保税を引き下げ、「払える保険税」にすることが必要です。

市民の国保税負担の軽減を行い、安心して医療が受けられるよう、国保税の引き下げを行ってください。

陳情項目

1. 国民健康保険税の引き下げを行ってください。

以上 議会事務局議事調査課

